



# 地域イノベーション研究会 を踏まえて & クラスターのグローバル展開

東北大学

原山優子

yuko.harayama@most.tohoku.ac.jp

# 地域イノベーション研究会を踏まえて(1)

- 基本認識
  - 地域の実態⇒地域イノベーション政策
  - 地域活性化⇔国際競争力強化
- ファクト
  - 技術力の高い企業、専門性の高い大学、スキルの高い人材を有する地域が存在
  - ⇒地域の潜在力の活用？
  - ⇒域外(国内&国外)のリソースの活用？
  - ⇒域外への展開？
- その根源にある課題
  - 地域を牽引する主体？
  - ビジョンを作りこむ主体？
  - 仕掛作りをする主体？

# 地域イノベーション研究会を踏まえて(2)

- 方向性
  - 個のアクション  
⇒ **協働体**のアクション
  - 経路依存型の地域  
⇒ **学習**する地域
  - 資源の棚卸 & 域外資源の発掘  
⇒ **地域構想 & 地域戦略**
  - 関連府省の施策の集合  
⇒ **協調支援**
    - イノベーションのフェーズをつなぐ
    - 分野融合の障壁を低くする
    - 限られた財源を効率的に活用する



# 地域イノベーション研究会を踏まえて(3)

## ● 具体的な施策例(1)

### － 地域クラスター施策

- 産業クラスター計画から生み出されたビジネスモデル、仕組み、ノウハウの共有化、他地域への展開
- 大企業と中小・ベンチャー企業とのマッチングの仕組み構築、広域展開
- 関連府省の協調支援によるイノベーションのフェーズつなぎ & 分野融合の促進(CSTPの役割！)

### － 戦略的集積化 & 地域資源の有効活用

- 「地域の構想」に沿ったイノベーション機能の集積化
- 設備の集約化・オープン化、特色ある公設試支援

# 地域イノベーション研究会を踏まえて(4)

## • 具体的な施策例(2)

### – 「仕掛け作り」人材の発掘・育成・交流

- 実績のあるコーディネータの下でOJT&インターンシップ等の実践的育成研修  
⇒人材プール↑
- 実績のあるコーディネータを核とする人材ネットワーク構築  
⇒「仕掛け作り」人材の市場形成！
- 博士号取得者の地域企業への中長期派遣推進

### – 社会実験を可能にする制度改革

- 「スーパー・テクノイノベーション特区(仮称)」等
  - 研究開発の成果を実現するための社会実証
  - 地域構想⇒関係各省が連携し資源の重点配分&制度的課題の解決  
⇒ビジネスモデルの検証、社会への定着、世界標準の獲得等  
⇒地域の吸引力↑

# クラスターのグローバル展開(1)

- なぜグローバル展開？
  - スイスのニューシャテル (micro-system tech.)
    - 小国であるが故の必須条件
  - フランス・ドイツ・スイスにまたがるバイオ・バレー\*
    - 拠点としてのクリティカル・マスを確保
  - シリコン・バレー
    - デザイン機能に特化⇒グローバルな役割分担
  - シンガポール (大学クラスター)
    - 人材のハブ⇒吸引力 ↑

# クラスターのグローバル展開(2)

- 日本の状況
  - 国内の市場規模、消費者の質
    - まずは国内から！
  - 拠点としてのクリティカル・マスを確保
    - 地理的条件！
  - **グローバルな役割分担**
    - 可能性？
  - **MNCsの活用**
    - サイエンスパークのフラッグシップとして活用？